People Tree　　GLOBAL VILLAGE

2014年12月24日
プレスリリース

途上国の衣料労働者の状況を知って！
バングラデシュのフェアトレード・プロジェクトに寄付募集
～英国人モデル2人がチャリティー・ウォーク：日本縦断419km～

日本とヨーロッパで展開するフェアトレードの専門ブランド「ピープル・ツリー」のアンバサダーとしてフェアトレードの啓発活動を支援している日本在住の英国人モデル、ディーン・ニューコムさんは、友人のモデル　ソフィ・ベヴァンさんと2人で、**12月26日（金）から2015年1月1日（木）までの7日間、千葉から新潟までの419kmを歩きながらバングラデシュの衣料労働者と同じ労働時間と摂取カロリーを体験するチャリティー・ウォーク「Walk 4 Work」**を行います。

ディーンさんは2013年にピープル・ツリーの生産者パートナーであるバングラデシュのタナパラ・スワローズを訪れ、途上国のコミュニティで公正な賃金で尊厳ある仕事を提供し地域発展を支えていることに感銘を受けました。また、同年4月にバングラデシュの縫製工場「ラナ・プラザ」の崩壊事故で1,000名以上の衣料労働者が亡くなったことに心を痛め、同工場に生産を委託していた英国のブランドに対して遺族への補償や労働者の待遇改善を求めるロンドンでのデモ活動に参加しました。

先進国の消費者が身に着ける衣料製品の多くが、「ラナ・プラザ」のように安全基準を守らないまま労働者を劣悪な労働環境で働かせているスウェットショップ（労働搾取工場）で作られています。**「Walk 4 Work」はこのようなファッション業界の現状を知らせフェアトレードを広めることを目的**とし、オンラインで寄付を集めるファンドレイジングサイト「ジャストギビング」を通じて、**タナパラ・スワローズのフェアトレード・プロジェクトを支援するための寄付を集めます。**寄付金の受け入れはピープル・ツリーの母体NGOである「グローバル・ヴィレッジ」が行います。

ディーン・ニューコムさん（右）と
ソフィ・ベヴァンさん（左）

■　**ピープル・ツリーについて**　www.peopletree.co.jp

ピープル・ツリーは、人と地球にやさしい貿易＜フェアトレード＞を行う会社「フェアトレードカンパニー」のブランド名です。

ピープル・ツリーはアジア、アフリカ、南米の8ヶ国、約150団体が手作りで生産した、自然素材を活かした衣料品やアクセサリー、食品、雑貨などを扱っています。ピープル・ツリーは、WFTO（世界フェアトレード機関・www.wfto.com）の認証を受けており、公正な価格の支払いやデザイン・技術研修の支援、継続的な注文を通じて、環境を害さない持続可能な生産を支えています。　イギリスでは2001年設立の姉妹会社「People Tree Ltd」が展開しています。

■　**グローバル・ヴィレッジについて**　www.globalvillage.or.jp

貧困や環境破壊のない持続可能な社会を目指して1991年に設立されたNGO。環境と貧困の問題について情報提供と啓発活動を行うほか、「フェアトレード」推進のためのイベントやキャンペーンを実施しています。1995年にフェアトレード事業を法人化し、フェアトレードカンパニーが設立されました。

本プレスリリースに関するお問い合わせは：
ピープル・ツリー　（担当：胤森　たねもり）　電話：03-5731-6671　ファックス：03-5731-6677　メール：pr@peopletree.co.jp

スウェットショップでは、劣悪な労働環境のもとで最低限の生活を支えるにも満たない低賃金しか支払われず、労働組合の活動も制限されています。次々と移り変わるトレンドに対応するために発注主から短い納期を要求され、労働者たちは毎日14～16時間働き、休みは2週間に1日しかありません。労働者たちの食事は毎食400～600キロカロリーほどで、成人女性が1日に必要な2,700キロカロリーを下回っています。そのため仕事中に意識を失う人もいます。

ディーンさんとソフィさんは、このような衣料労働者の人々の状況を自ら体験し伝えようと、1日16時間、7日間ノンストップで歩き、ディーンさんは毎食800キロカロリー、ソフィさんは600キロカロリーのみの食事を取ることにしています。カロリー不足の食事や休みなしの運動が心や体にどんな影響を与えるのか、ウォーク期間中フェイスブックとツイッターで発信をしていきます。（#Walk4Work）

2人は2014年12月26日（金）に千葉県の銚子を出発し、茨城県、埼玉県、群馬県、長野県を経由して、新潟県まで、日本を縦断して419km歩く予定です。

2人のチャリティー・ウォークに賛同する人は、り、「ジャストギビング」に登録されたページから寄付を送ることでこのチャレンジを応援することができます。

http://justgiving.jp/c/11350

ジャストギビングを通じてグローバル・ヴィレッジに集められた寄付金は、バングラデシュのフェアトレード生産者団体タナパラ・スワローズに送られます。

スワローズは、1971年の独立戦争時に男性たちが殺されたタナパラ村で、残された女性たちが暮らしていけるよう、仕事の機会をつくるために設立されました。現在、200人以上の女性たちがはた織りや縫製の仕事を通じて収入を得ています。ピープル・ツリーは 23年前からスワローズと共に手織り・手刺繍の技術を使った衣料品を開発し販売しています。スワローズでは、製品の生産により雇用を提供するだけでなく、地元のコミュニティのために小規模融資サービスや女性の地位向上のための啓発活動なども行っています。また、フェアトレードの収益によって、地域の320人の子どもたちが通うスワローズ・スクールを運営しています。

2007年には働く女性たちのための幼児保育施設の運営が始まり、グローバル・ヴィレッジは毎年運営資金の一部を寄付しています。

タナパラ・スワローズで手織りの仕事を体験したディーン・ニューコムさん（左）
2013年3月、バングラデシュ タナパラ村で